



かわいらしいネジバナ

6月26日、小園地区にある加納さん宅の庭で、とても小さいピンクの花が、らせん状にねじれて咲くネジバナを見つけました。ネジバナは野生のランの一種で、7月の誕生花の一つです。恋い慕う思いをねじれて咲く姿に重ねたようで、花言葉は「思慕」といわれており、万葉の時代から親しまれていたそうです。

【高橋 元】



緑に映える梨の袋掛け

7月15日、深谷中周辺をウォーキング中に、梨の木を見つけました。大きな白い花が咲いているように見えたのですが、花のように見えたのは、袋掛けされた梨でした。梨の袋掛けは、実の品質向上や虫被害防止に効果があるそうで、梨の実一つ一つに丁寧に袋掛けされていました。夏から秋にかけての収穫が今から楽しみです。

【馬場 正勝】



風に舞うハスの葉と花

7月11日の午後、蟹ヶ谷公園の湿生園を散策していると、空がにわかには曇り始めました。突然、薄桃色の花と濃い緑の葉が広がる池に風が吹いて、一面のハスの葉が裏返り、白い波のように見えました。泥の中から真っすぐに茎を伸ばすハスの花言葉には「清らかな心」などがあります。小雨が降る中、心が癒やされるひとときでした。

【秋元 謙治】



生き生きとしたトウモロコシ畑

梅雨の晴れ間の7月2日は、すがすがしい青空でした。うっすらと望める夏の富士山や大山を背に、春日原のトウモロコシ畑が生き生きとして見えました。本格的な夏が近づいてきているように感じました。

【馬場 正勝】



竹林の日陰

7月2日、梅雨の合間の晴れた日に城山公園を散歩していたら、ザワザワと風になびいている竹林の道に出ました。老いた竹も若い竹も高く伸びていました。まるで散歩している人を大きな日陰で包んでくれているかのようで、涼しげに感じました。

【馬場 正勝】

